学校番号	119

平成 31 年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	The Base of Music（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を作ること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間を通して学習します。
音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて試してみてこそ価値のあるものとなり、そうして感性が豊かになります。
音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	歌唱	校歌 翼をください ありがとう	○		○		a:歌う喜びを味わい、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための正しい発声法を身に付け、歌唱の技術を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ソルフェージュ	Base of Music			○	○		
	リズムアンサンブルを楽しもう	クラッピングカルテット第 1 番	○	○	○	○	a:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その動きを感受しながら、どのように音楽を作るかについて表現意図を持っている。 C:リズム譜を読譜できるようになり、表現したいことを伝える。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	表現を工夫しながらリコーダーを演奏しよう	C-a-f-f-e-e / Alleluia /	○		○	○	a:リコーダーの音色や奏法の特徴をいかして取り組もうとしている。 b:リズム、旋律、強弱など音楽を形作っている要素の変化とその持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2	表現を工夫して合唱をしよう ソルフェージュ	ふるさと 少年時代 夢見たものは 荒野の果てに	○	○	○	○	a:一人ひとりが主体的、積極的に歌い、各声部のかかわりや各パートの役割を意識しイメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための正しい発声法を身に付け、歌唱の技術を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	表現を工夫しながらリコーダーを演奏しよう	ディズニーメドレー	○	○	○	○	a:リコーダーの音色や奏法の特徴をいかして取り組もうとしている。 b:リズム、旋律、強弱など音楽を形作っている要素の変化とその持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 d:積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を身につけようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3	**表現を工夫しながら重唱や合唱をしよう**	Amazaing Grace	○	○	○	○	a：各声部のかかわりや，音の重なり，全体の調和 b：一人一人が主体的，積極的に歌い，各声部のかかわりやハーモニーを意識して，アンサンブルの喜びを味わう c：楽曲にふさわしい表現の工夫 d：共通のイメージをもちながら，楽曲にふさわしい表現を心がける	観察 ワークシート 演奏の聴取
	文化的・歴史的背景を理解して，日本の伝統音楽やオペラを鑑賞しよう		○		○	○	a：声や楽器の音色の特徴と表現の効果との関わりに関心をもつ。 b：演奏者による違いなどについて，鑑賞した後に批評文を書いたり，感想を述べ合ったりする c：物語の情景や登場人物の心情について，どのような声や楽器の音色で表現しているかなどについて比較しながら鑑賞する d：文化的・歴史的背景など総合的に特徴を理解する。また，我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解する。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

6　芸術（音楽）

学校番号	119

平成３１年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ２」（教育芸術社）						
副教材等	The Base of Music（教育芸術社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！ ～出会いのうた～	【歌唱】 校歌 翼をください ありがとう	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 クラッピングカルテット第 1 番	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 クラッピングアンサンブルをつくろう		○			b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファーストステップ ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 バレエ音楽 ボレロ(ラヴェル)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
2学期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 この道	○	○	○		a:「この道」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「この道」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	篠笛に挑戦！	【器楽】 夕やけ　小やけをふいてみよう さくらさくら 赤とんぼ	○	○	○		a:篠笛の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:篠笛の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	日本の民謡の特徴や日本の心を感じ取ろう	【鑑賞】 「民謡の特徴1」 「民謡の特徴2」	○			○	a:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	日本の音階で旋律をつくろう！	【創作】 「民謡音階」「都節音階」「律音階」「沖縄音階」から音階を選択し、旋律を創作	○	○	○		a:我が国や郷土の音階の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:我が国や郷土の音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 スカボローフェア	○	○	○		a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3学期	鑑賞のステップアップ ～声の魅力を探ろう～	【鑑賞】 オペラ「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」(プッチーニ)	○			○	a:総合芸術オペラの特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:声の音色と表現上の効果との関わりを知覚、感受し、アリア「誰も寝てはならぬ」とその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、オペラに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 カーロミーオベン （斉唱・原語）	○	○	○		a：曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b：旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	文楽に親しむ	【鑑賞】 文楽（人形浄瑠璃） 「義経千本桜」から ＜道行初音旅＞	○			○	a：我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d：音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、文楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 アメイジンググレイス（混声4）	○	○	○		a：曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b：旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa, b, cの３観点で、「鑑賞」の分野はa, dの２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。